本郷台キリスト教会

牧会ファミリーシート　(2026/11/29～2026/12/5)

WELCOME/ 歓迎

●今週も楽しく牧会ファミリーを進めていきましょう！まずは、簡単なアイスブレークで、楽しみましょう。

アドベントを迎えました。あなたの今年のクリスマスの予定を教えてください。

WORSHIP/ ワーシップ

●　【久しく待ちにし】　教会福音讃美歌 59

1. 久しく待ちにし 主よ、とく来たりて、み民のなわめを 解き放ちたまえ。主よ主よ、み民を 救わせたまえや

2. あしたの星なる 主よ、とく来たりて、お暗きこの世に み光をたまえ。主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

3 ダビデの裔なる 主よ、とく来たりて、平和の花咲く 国をたてたまえ。主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

4 ちからの君なる 主よ、とく来たりて、輝くみくらに とわにつき給え。主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

●それでは、礼拝メッセージからの分かち合いに移りましょう。牧会ファミリーでは、毎週日曜日に教会で語られるメッセージを元に、分かち合いの時を持ちます。礼拝メッセージを聞いていない方でも、大丈夫です。要約の内容からでかまいませんので、積極的に分かち合いに参加してください。

●今回のみことばは、出エジプト 3:7-10 です。

今日からアドベントに入ります。イエス・キリストがこの地上に来てくださったことを覚え、クリスマスを待ち望む季節です。クリスマスが近づくと、イルミネーションが輝き、何となく心が温かくなります。そんなクリスマスの季節であっても、私たちの周りには理不尽とも思えることが起こります。突然の病気、事故、戦争や災害など、それまでの生活が一変してしまうようなことも起こります。

神様は愛のお方です。ではなぜこのようなことが起こるのでしょうか。聖書は私たちのこのような疑問の全てに答えているわけではありません。しかし、これらの「なぜ」に答える代わりに、私たちの苦しみに対して、神様が何をなさったのかを記しています。(出エジプト 3:7-10)神様は、人々の苦しみに目を留め、その叫びを聞いてくださっています。彼らの痛みを知っていると言ってくださる方です。神の御子イエス・キリストは、人となってこの地上に来られました。そして人々から拒絶され、裏切られ、孤独や悲しみを経験されました。そして、十字架の上で苦しみを受けてくださいました。イエス様は人の苦しみを知識としてご存知なのではありません。ご自身がその痛み、苦しみを経験してくださったのです。ですから、私たちは苦しみの中でイエス様に祈ることができます。それは、うまく言葉にならない祈りであってもよいのです。

イスラエルの人々もエジプトの奴隷となり、苦しめられていました。言葉にならない祈り、苦しみの叫びがありました。神様はそれをお聞きになり、ご自身が下ってきてくださったのです。神様にとってはイスラエルの民は何時如何なる時も「わたしの民」であったからです。それは、彼らが立派であったからではなく、神様ご自身が約束を守られる真実なお方だからです。

神様に働いていただくために「立派なクリスチャンにならなければいけない」のではありません。神様の真実さは、私たちの信仰の強さに左右されません。イスラエルを救われた神様は、御子イエス・キリストをこの世に送ってくださいました。イエス様は私たちの受けるべき罪のさばきを、私たちの代わりに十字架で受け、死んでくださいました。そして、3 日目によみがえり、死に打ち勝たれました。私たちの罪は、自力で消すことはできません。しかし、イエス様を救い主として信じるとき、罪を赦され、神様との関係を回復していただけるのです。神様はイエス様を地上に送ってくださった、それほどまでに私たちを愛して下さっているのです。

出エジプト記に戻りますと、神様はイスラエルの救いのためにモーセを召されました。彼は同胞を救いたいという自分の思いで行動し、失敗した経験がありました。神様に遣わされた彼は、苦役に喘ぐイスラエルの民を救うべくファラオのもとへ行きました。すると、事態は悪化し、同胞からも責められることとなりました。困難に直面したのです。しかし、今回は自分の判断ではなく、神様に遣わされ、その召しに応えて歩んでいる中での出来事でした。神様ご自身がともにいてくださったのです。神様は人を介さずともご自身のみわざを行うことのできるお方です。しかし、あえて人を召し、その人とともに歩み、その人を通してご自身のみわざを進められるのです。この神様は、今も苦しむ人たちに目を留め、その叫びを聞いておられます。彼らにご自身の愛を届けるため、今も人を召し、遣わしてくださっているのです。私たちの身の回りにも、神様が目を留めておられる人がいるのではないでしょうか。私たちはどう応えたらよいのでしょう。自分にはできないと感じるかもしれません。イスラエルの民を導いたモーセも、同じでした。「あなたを遣わす」という主の言葉に、自分にはできないと幾度も訴えました。神様は、モーセとともにいてくださることを約束されました。その主が、私たちとともにいることも約束してくださっています。主が私たちを遣わそうとされるとき、自分の力ではなく真実な神様ご自身を見上げて「私を用いてください」と応える者でありたいと思います。

1. この世界には、人間の罪によって生み出されている苦しみがたくさんあります。しかし神様は、苦しむ人々に目を留め、その叫びを聞かれ、私たちを救うために御子を与えてくださるほどに、私たちを愛しておられます。

① 「もう耐えられない。」という祈りの言葉にさえならない苦しみの中での叫びを聞き、十字架を通して、あなたにはっきりと示された神の愛を、今日もう一度確かめて、感謝をもって祈りましょう。

② モーセの召命を覚えましょう。神様は今、あなたをどこへ、誰のもとへ遣わそうとしておられるでしょうか？大切なのは私たちに力があるかということではなく、私たちを召して下さる神様がどのようなお方なのか、ということです。真実な神ご自身を見上げ導きに応答していきましょう。互いの導きの祝福を祈りましょう。

2. 今日のメッセージから受けた恵みを、何でも分かち合い祝福を祈りましょう

WORK/ わかちあい



1、 先週、ここで話し合ったことを振り返って、この一週間でどのように進んだかを確認しましょう。感謝と課題を共有し、次のステップについて話し合いましょう。

2、 この先、以下のような行事があります。牧会ファミリーとしてどのように関わることができるか、話し合いましょう。 ※各行事の詳細は、ファミリー牧者に聞いてください。

・12/12(土)14:00～18:00 クリスマスマーケット@SAKAE(本郷台駅前広場)

・12/13(日)13:30～14:30 関東学院中学校高等学校ハンドベルクワイヤコンサート

・12/24(木)19:30～20:30 クリスマスイブ礼拝

・12/28(月)14:00～15:30 劇団ぶどうの木 冬フェスタ(あーすぷらざ 映像ホール)

3、 新しい人がファミリーに加わるために、また、オイコスがよりしっかりとファミリーにつながるための企画について話し合いましょう。

4、 ファミリーメンバーやその家族・友人・近所の人などで助けを必要としている人について、牧会ファミリーとして協力し合えることがないか話し合いましょう。

ファミリー開催後の連絡を、以下の 3 つのいずれかの中から、やりやすい方法でお願い致します。

・教会ホームページの牧会ファミリー開催報告フォームより。

・ファミリー報告メール（familyhongodai@gmail.com）より。

・右の QR コードより。

◎報告は、ファミリー名、場所、時間、参加者名をお願いします。